



三重中央だより

当院の理念(Principle) ●いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、安心で質の高い医療を行います。

巻頭言

三重中央から、「ええじゃないか」

院長 霜坂 辰一



あけましておめでとうございます。皆様にとりましてよい年になりますようにお祈り申し上げます。平成として1年を過ごせる最後の年になりました。

「ヨイジャナイカ、エイジャナイカ、エイジャナカト」、慶応3年(1867年)8月下旬から12月上旬にかけて、中・四国から近畿、東海地方にかけて、天から御札が降ってきて、「ええじゃないか」騒動が持ち上がりました。御札が降った家に、旅の者や得体の知れぬ者たちが、200人、300人と集まってきて、「日本の世直りええじゃないか」と踊り回りながら、家人の接待で飲み放題、食べ放題、金品の強要の騒動があったと記録されています。1カ所で7日間

も騒動が続くこともあったといえます。「ええじゃないか」騒動は、誰が何の目的で、どのように仕掛けたかは未だに不明です。幕末動乱の時代の最後の年に、幕藩体制の「天下泰平」にとどめを刺した事件でした。翌年、明治元年(1868年)になりました。

先の大戦後の昭和から平成に受け継いだ、発足当時は新しい時代の希望に燃えた政治、経済など様々なシステムも、盛者必衰で消え行こうとしています。産業界だけを見ても、隆盛を極めていた会社が勢いを失い、社会から退場していく様子が日々ニュースで流れます。

今、少子高齢化、人口減少という社会の津波が、逃げようもなくすでに到達しています。そして静かだけれど確実に、強力な破壊力をもって拮がろうとしています。医療界も例外なく逃れることはできません。地域医療構想、地域包括ケアという新しい医療体制作りを急いでいるのも、津波から生き延びるためのノアの方舟作りです。「これまでのやり方」や「過去の常識」を否定し、発想を大胆に転換することが求められています。世界の外、過去の外、自分自身の外に活路を見いださなければなりません。具体的には？ 分かりません。

元号が改まる来年に向けて、どこかから起こる時代の流れの大転換、平成の「ええじゃないか」が、三重中央医療センターから起こってもええじゃないか。





年男 年女



栄養管理室 調理師長 堀内 正敏 【1958年】

「新年の抱負」

新年あけましておめでとうございます。

今年は戌年、年男ということで三重中央だよりで紹介して頂くこととなりましたので、一言ご挨拶申し上げます。

私は、1958年生まれで今年還暦を迎えることとなります。読者の方で年男、年女の方もたくさんいらっしゃると思い、戌年の干支の性格や特徴について調べましたので簡単に紹介します。戌年の人は、「とても愛情深いですが、表面的にはシャイなタイプなため、派手なことや社会的なことは好みません。自然と弱者を助けるため、自然に信頼を集め、リーダーにも適している」とされています。

ところで、私は昭和60年1月に国立療養所静澄病院で採用され、病院調理師としてのキャリアが始まりました。平成10年7月に津病院と静澄病院が統合し当院が開設されたことで現在の職場に勤務しています。当時の仲間は定年退職し、今では調理業務の委託化が進み、昨年4月1日に最後の調理師長としての辞令をいただき今に至っています。

私たち栄養管理室の基本方針は3つあります。

1. 安全で安心できる食事提供
2. まごころをこめた美味しい食事の提供
3. 治療と回復に役立つ食生活

ということを目標に日々調理場で委託職員と共同し精進しています。

さて昨年10月には、台風21号等々の大雨が続いたことで、全国的に生鮮野菜が高騰し品薄になったことは、皆さんの記憶に新しいことだと思います。当院でも使用する野菜の入荷がなく、一部に冷凍野菜を利用することになりました。30年以上病院調理師をしていますので、このような経験は初めてであり驚きました。今年は食材の供給が安定し、皆様に“安全で安心な美味しい食事”を提供できることを願うところです。

最後に皆様にとって本年が良い年になるよう祈念いたしまして新年尾ご挨拶とさせていただきます。



産婦人科病棟看護師長 伊藤 由子 【1970年】

「戌にあやかり安全で安産なお産を」

新年明けましておめでとうございます。

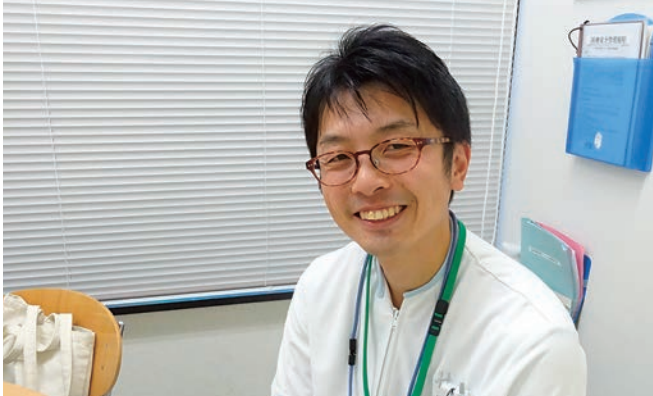
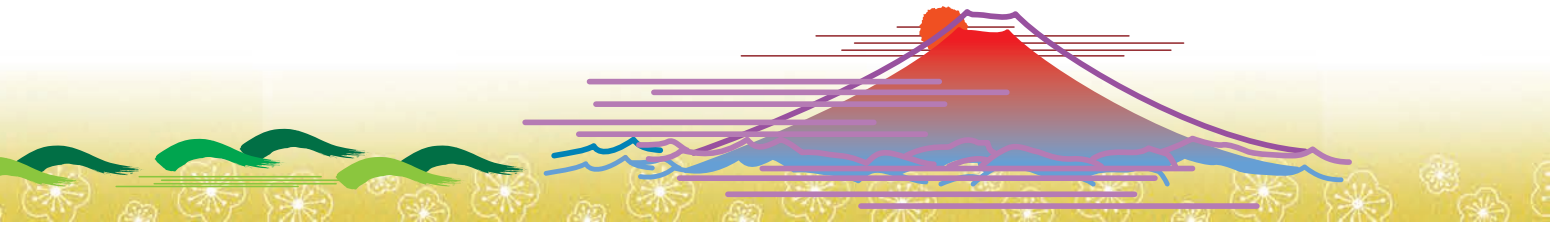
皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

今年は戌年、年女ということで機会をいただきましたので、年頭に当たり一言ご挨拶申し上げます。

自分の干支である「戌」についてあまり知らないなと思ひ、ちょっと調べてみました。戌年生まれの性格の特徴は、「正義感が強い」「防御本能が強い」「協調性がある」「真面目で働き者」「思いやりがあって親切」「心配性である」など『外国人が思う日本人の性格』に当てはまることが多いようです。自分の性格と照らし合わせると今ひとつしっくりきません。戌年ですがどちらかというと犬より猫が好きで、性格も「猫タイプ」と自己分析しております。そこで、タイプ別診断をしたら犬タイプ30%、猫タイプ70%の診断結果でした。これで納得。

こんな私が師長をしております東4病棟(産婦人科)は、総合母子周産期センターです。昨今の母子を取り巻く状況は「少子化の進行」「晩婚化・未婚率の上昇」「核家族化、育児の孤立化」「子供の貧困」「母子保健領域における健康格差」など様々な課題を抱えています。さらに、全出生中の低出生体重児の割合も増加しており、周産期医療に求められる役割と責任の重さを日々感じております。当病棟で出産をされる方は、リスクのある医療介入の多い分娩となりますので、母子の安全を守り無事に出産をして頂くことが私たちの役割でもあります。

今年は戌年。戌は多産で安産と言われ、古来より「戌の日」に安産祈願も行われています。戌年の私の病棟は、戌にあやかり安全で安産なお産を提供し、新しい命を迎えられるご家族の笑顔のためにスタッフ一同今後も邁進してまいります。どうぞよろしくお願い致します。



三重中央看護学校教員 **角田 智哉** 【1982年】

「教育の道を一步一步、歩み続けます」

新年明けましておめでとうございます。今年36歳になる年男と言うことで、新年のご挨拶をする、またとない機会をいただき嬉しく思います。

私は、看護学校で1年目の教員として勤務しております。教員になる前は、鈴鹿病院で13年ほど看護師をしており、当校の学生に実習指導をする機会がありました。その時の実習指導経験から、学生に看護を伝えることの楽しさや喜びを感じ、教員を目指したいと思い専任教員養成講習会を受けさせていただきました。

実際に教員になってからは、看護について知っていたつもりになっていたことばかりで、自分の未熟さを日々痛感しています。先輩教員の方々からは、なかなか覚えの悪い私に対し、辛抱強く、そして熱心に指導をいただいております。充実した毎日を過ごしています。教育経験や臨床経験ともに豊かな先生達から指導していただくことは、私にとって新しい発見の連続です。臨床にいたら経験できなかったと感じ、教員を目指して本当によかったと思っています。人に教育をすることは、今後のその人の人生にも大きく関わるため、非常に責任の重いことです。だからこそ正確な知識や技術を、できる限りわかりやすく教えたいと考えていますが、なかなか思うようにいきません。それは、教育内容の意味や価値について、まだまだ深く理解できていないからです。自分の考えを言語化できない時は、苦しい思いをすることもあります。しかし、たとえカメのような歩みであっても、自分の選んだ教育の道を自分の足で、一歩ずつ進んでいきたいと思っています。



外科・泌尿器科病棟看護師 **植松 祐里奈** 【1994年】

「感謝の気持ちを忘れずに」

明けましておめでとうございます。

今年が戌年であり、年女ということでこのような機会を頂きましたので、一言ご挨拶申し上げます。

看護師となりはや三年、毎日必死に先輩方を追いかけていた一、二年目とは違い、昨年は後輩も増え任される仕事も増えていき、悩み、自問自答の毎日でした。そんな中でも先輩方から優しくアドバイスを頂いたり、信頼できる同僚に相談に乗ってもらったりと、恵まれた環境で仕事ができることに感謝しております。

私の勤務する東5病棟は外科・泌尿器科病棟です。手術を受ける患者様が多く、手術後は痛みなどが強く、思うように動けず、つらい思いをされることもあります。『ありがとう』と笑顔で手を振りながら元気に退院される患者様の姿を見ることが何よりの励みとなっております。私は中学生のときから「人の役に立つ仕事がしたい」という漠然とした思いではありましたが、『看護師』だけを目指してきました。今は毎日患者様と関わり、患者様の回復と一緒に喜んだり、病気に対する悩みなどを一緒に共有したりすることができ、やりがいを強く感じ、看護師になってよかったと感じております。まだまだ課題はあり、反省することも多くあります。しかし、今年が戌年、年女として日々精進し、患者様との時間を大切に看護に励んでいきたいと思っています。プライベートでは犬のように騒がず大人の女性になりたいです。

2018年が皆様にとって喜び多い年でありますようお願いしております。

がん治療医と緩和ケア医の二刀流を目指して

外科系診療部長／緩和チームリーダー 谷川 寛 自

外科医のことを言い表す四字熟語に鬼手仏心（きしゅぶっしん）という言葉があります。『外科医は手術のとき、残酷なほど大胆に体にメスを入れるが、それは何としても患者を救いたいという温かい純粋な心からである。』という意味です。外科医はがん患者さんに対して手術治療を行い、抗がん剤や放射線治療を併用しながら病気の治癒のために誠心誠意努力します。

一方、緩和ケアとはがんに限らず生命を脅かす重い病気を抱える患者さんやそのご家族の、体や心などの様々なつらさを和らげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていく治療（ケア）のことです。がんと診断されたその時から、それまでの平穏な生活時にはなかった様々なつらさが重石のように突然のしかかってきます。これからの自分の人生設計を修正せざるを得なくなります。

緩和ケアは様々な苦痛、悩みが出現したその時点から提供されるものであり、終末期のみの治療では決してありません。がん治療と共に車の両輪の如く行われるととても大切で必要な治療（ケア）です。当院では緩和ケア外来や様々な視点から多面的にがん患者さんの苦痛をとらえ支えていく緩和ケアチームがあります。

がん診療では患者さんへの十分な説明を行い同意のうえ手術などの医療行為を行ういわゆる『インフォームドコンセント（説明と同意）』



がことに重要であることが言われてきました。しかし今は患者さん自身が治療方針を決定し自分自身どのような人生を歩みたいかを明確に医療者に話し、医療者もいかに患者さんに寄り添い共に協働し医療を提供するかが重要となります。がんと戦うのは患者さん一人では決してありません。私たちは共に戦いたい、支援したいと心から願っています。

また日常の診療業務だけではなく緩和ケアの教育啓蒙を進めるため医師をはじめとする全ての医療者を対象に研修会を続けています。さらに小中学生に対してがんの予防、検診の重要性を啓蒙するがん教育授業も行なっており、教育面の活動も行なっています。これからも様々な方面でがん診療に携わり患者さんに寄りそう医師であり続けたいと思っています。

■ 「がん治療を受けるあなたを支えます」

がん化学療法看護認定看護師 宮崎 絢子



がん治療は日々進歩し、抗がん剤の種類は増え、手術や放射線治療の技術も高度化しています。また、がん治療は遺伝子レベルで行われるようになり、治療の個別化が進んでいます。がん患者さんは診断を受けたあと、治療法や治療を受ける施設など、とても多くのことを決めなければなりません。しかし近年、書籍やテレビ、ブログなど、がんに関する情報は溢れ、患者さんにとって正しい情報を得ることが、かえって難しいという現状もあるのではないのでしょうか。

当院には、がん化学療法看護認定看護師が3名在籍し、東7病棟、西6病棟、外来で勤務しています。私たちは、がん治療、特にがん化学療法（抗がん剤治療）に対する専門的な知識をもち、治療法を選択する時、治療期、治療を終える時期の看護を専門としております。抗がん剤の副作用に対するケアだけでなく、がんに対する知識を持って患者さんとお話することで、治療に関する選択をする患者さんが、疑問や不安を解消でき、前に進むことができるよう、支えになりたいと考えています。相談窓口として、「がん看護相談外来」を開設しています。抗がん剤治療だけでなく、がん治療中でお悩みの方はお気軽にお声かけください。

■ 「自分らしく生きるためのサポートをさせていただきます」

緩和ケア認定看護師 町野 香織



「緩和ケア」というと「これ以上治療を望めない人へのケア」「看取りのケア」というイメージを持たれる方がみえるかもしれません。以前はそのような考え方もありましたが、現在の「緩和ケア」の考え方は、がんの患者様や終末期の患者様だけでなく、疾患により患者様が抱える痛みやだるさ、息苦しさなど様々な体のつらさや気持ちのつらさ、生活面でのつらさなどをなるべく早い段階から和らげることを目標とした「温もりのあるケア」です。

疾患による様々なつらさにより色々なことに振り回されてしまえば、自分らしさを失い、悔いが残るのではないのでしょうか？自分らしく生きることは「自分がどのように生きたいのか」という希望を明らかにする作業です。私が所属する緩和ケアチームでは様々な専門職種で共同して患者様・ご家族の療養生活に関する希望にできるだけ近づけ、患者様・ご家族が大切にしていることに目を向けながらサポートをさせていただきます。また、様々なつらさや不安・疑問にも対応させていただきます。あなたは1人ではありません。もし、がんになっても自分らしく生きることは可能です。当院には、がん相談支援センターもありますので、お気軽に相談してください。

■ 「患者サロンでお待ちしています！」

医療ソーシャルワーカー 金森 真紀子



がんと診断された方、現在治療中の方、治療は一段落して経過観察中の方、同じような病気を抱えた方々とお話してみたいと思いませんか。そんな方は、患者サロンクローバーで毎月行われている「アロマハンドトリートメント&フットセラピー」をお勧めいたします。

セラピストの蒔田さんと深田さんが、病気の方でも安心して使える、季節に合わせたアロマオイルを持って来てくださるので、その中から好きなオイルを選ぶことができます。自宅でのケアの方法についても相談も出来ます。トリートメントのあとは、温かい飲み物で一息つきながら参加者の方々とご歓談頂けます。みなさん気さくな方々なので、初めての方もすぐ輪の中に入れると思います。がん相談員への相談も可能ですので、お気軽に足をお運びください。

参加者の方のお声です。「足のどこがむくんでいるかなど教えてもらえます。」「とてもリラックスでき月1回の楽しみの時間です。」

参加費用は無料です。開催日時については当院ホームページをご覧ください。がん相談支援センターへお尋ねください。



我が故郷

美杉・久居

新年明けましておめでとうございます。今年は成年ですね、実は私年女なのです。

この度、故郷を語る機会を頂戴し大変光栄に思います。私は伊勢の内宮の近くで生まれ、神宮の森と美しい五十鈴川に癒されのびのび育ちました。自然豊かな地域で、子どもの頃はよく近くの小川でメダカやザリガニ取りをして遊んでいました。小学校三年生の春、病気で四か月ほど入院したとき、看護師の凛とした姿に憧れ、将来は絶対看護師になると決めていました。昭和五十一年四月、当時久居駅のすぐ東側にあった国立津病院附属看護学校の三期生として入学しました。家族から初めて離れた寮生活は、先輩方や仲間を支えられ、楽しさの中に厳しさありのとても有意義な三年間でした。卒業後は国立津病院の外科病棟に就職し、多くの方のご指導を受け充実した看護師人生のスタートとなりました。縁あって美杉村（現在美杉町）に嫁ぎ、今は久居で暮らしています。看護学校時代に過ごした街の風景は少しずつ変わっていきませんが、懐かしさも残っています。今こうして母校の病院で働く機会をいただけたことに感謝しています。もうすぐ孫が三人になる幸せな忙しさを感じつつ、久居の街を眺めています。



看護部長
今井 可奈子





看護師長 栗本 淳子
副看護師長 廣野 絵美

こんにちは。専門・認定看護師です

シリーズ 7

● 新生児集中ケア認定看護師 ●

「赤ちゃんに優しい看護を目指して」

私たちの役割は、急性期にある新生児の治療・療養中に生じる身体的及び心理社会的有害事象に対して予防的な働きかけ、発達を促す関わり、赤ちゃん一人ひとりに応じた個別的なケアを実践することです。そして「赤ちゃんに優しい看護」を目指して、日々看護に努めています。また赤ちゃんにとって一番快適で安全な看護とは何かを考えつつ、看護スタッフや医師達と日々取り組んでおります。やりがいは日々赤ちゃんのメッセージを読み取り、その赤ちゃんに最適な看護を提供することです。自ら訴えることが出来ない赤ちゃん達が何を訴えているのか、表情や様子から理解しなければなりません。提供した看護実践の結果、赤ちゃん達が気持ちよく眠る姿をみると、赤ちゃんからの評価を頂いているように感じます。

赤ちゃんの入院が必要となった際はご家族のご不安も大きいと思います。何かお困りの事などありましたら、お声掛けください。また地域の新生児医療に関わる方のご相談もお待ちしております。



「里山こころの便りー榊原の窓から」

第11話の3 自閉症スペクトラム障害ASD

自閉症スペクトラム障害を1歳前に評価して診断しようという動きがあります。現在は1歳半検診、3歳検診で診断を確定しようとしています。なぜ早く診断しようと試みるのでしょうか。それはその子どもの特性をしり適切な養育をすることで社会適応能力を増すようにすることです。これを療育（療養と教育を合わせた言葉）と呼んでいます。こだわりがあることを生かして特異に持つ才能を伸ばす、視覚情報の処理が上手なひとは絵や文字にして視覚的に伝えるようにする、生活の場面を一つ一つ段階的に組み立てて学習すること、先の見通しを共有して安心してこころの準備をして行動するなど、様々な試みがなされています。三重県では子どもの発達についての相談センターは各自治体が運営していますので利用しましょう。さてこれらの療育を得られなかった子ども、また適応よく育っていても思春期の荒波で崩れてしまう子どもがいることも事実です。こだわりが強い、パニックになる、普通の社会適応がなく様々な問題行動が起きた時の体制が三重県では弱体であると感じています。遺伝子の説明で述べたように躁うつ病（双極性障害）や統合失調症を併存させることもあります。この場合に治療特異性の高い薬物療法はありませんが、それでも治療抵抗性抗精神病薬のクロザピンに代表される抗精神病薬が安定をもたらすことは経験することです。榊原病院でもささやかな取り組みをして、気持ちが安定して再びリハビリテーションを受けることで社会生活が営めるようにと願っています。



村上 優

榊原病院
院長



三重県知事表彰（三重県看護功労賞）を受賞しました

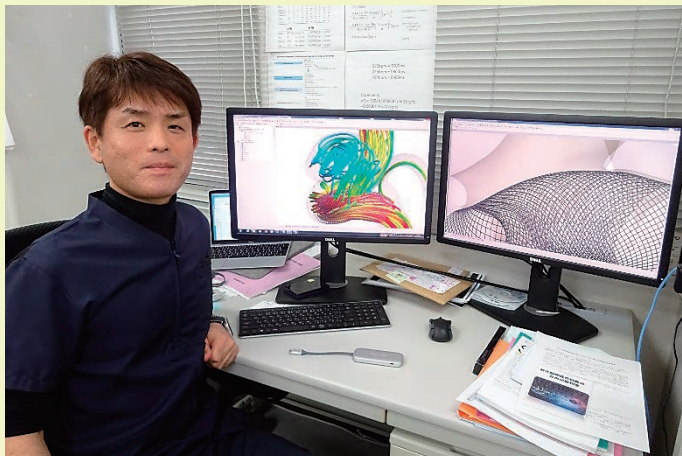
三重中央看護学校 教育主事 西 泉

この度は、栄えある三重県看護功労賞を賜うことができ誠にありがとうございました。偏に、これまで支えていただいた皆様のお蔭と、心より感謝申し上げます。今後も、多くの方々との絆を大切にして、看護の仕事に携わって参りたいと思います。



2017年三重県医師会医学研究奨励賞を受賞しました

脳神経外科部長 石田 藤麿



くも膜下出血の原因となる脳動脈瘤に対する脳血管内治療の進歩はめざましく、様々な治療デバイスが開発されていますが、有効性や安全性の確認は極めて重要です。

三重中央医療センター脳神経外科では、最先端のコンピュータテクノロジーを用いて、近年開発された頭蓋内ステントを用いた脳血管内治療の治療効果を予測する研究に取り組んでおり、今後の研究の発展が期待されています。

日本呼吸器内視鏡学会中部支部会で優秀演題賞を受賞しました

当院 呼吸器内科 岡野智仁医師が、日本呼吸器内視鏡学会中部支部会（名古屋）で優秀演題賞を受賞しました。

（写真左が岡野智仁医師）



国立病院機構本部で「医療の質」活動の奨励賞を受賞しました

国立病院機構本部（東京都）で、平成29年度「医療の質」改善活動評価の奨励賞を受賞しました。全国で10施設だけという非常に荣誉ある賞です。

今回は、当院東5階病棟（外科・泌尿器科病棟）の看護師が取り組んだ「転倒リスクを減らすための～5分で変わる病床環境～」が、医療サービスや医療安全の観点で非常に優れた取り組みと評価されました。

（写真中央 国立病院機構理事長 楠岡英雄様、

左 東5階病棟 谷口恵美看護師長、右 同病棟 葛西梨那看護師）



国立病院総合医学会（2017年11月10日～11日、香川県高松市）で 当院から3人の演者がベスト口演賞を受賞しました



リハビリテーション科言語聴覚士
梅原 健



整形外科病棟看護師
佐藤 香奈



臨床検査技師
植田 真理子

当院看護師が人命救助で表彰を 受けました

東3階病棟（循環器内科・心臓血管外科病棟）の看護師 有馬朋子さんが、人命救助処置の功労で、当院院長から表彰を受けました。

（写真左が有馬朋子看護師）



『病気を知り 予防し 生活するための ミエチュウオウ文化祭』を開催いたしました

地域医療連携係長 山本 弥生



平成29年10月28日（土）『病気を知り 予防し 生活するための ミエチュウオウ文化祭』を開催しました。

当院は地域の皆様が安心して医療を受けられるよう、地域密着型医療機関を目指しています。病院という場所の敷居を低くし、地域住民と医療者との触れ合いの機会をすることで「顔が見える医療」を展開していきたい。また、慢性疾患を患っておられる患者さんは長期入院を強いられることもしばしばあり、いつもと違う病院の風景や病院ではなかなか触れられないアート作品・パフォーマンスは、気分を更新して闘病へのエネルギーに繋がるのではないかと考え、今年で4回目となりました。

当院は、昨年7月に災害拠点病院となりました。「災害」をテーマとし、災害対策委員会による市民向け災害勉強会・ワークショップも行いました。

1Fエントランスホールでは、恒例となりました数々のパフォーマンスが開催されました。当院のスタッフも活動しているよさこい5チームの迫力ある演舞、津市内のダンススタジオで日々鍛錬されているF-STYLE、一般公募からお越しいただいたB-waveの

皆さんの華麗なる舞を拝見することができました。

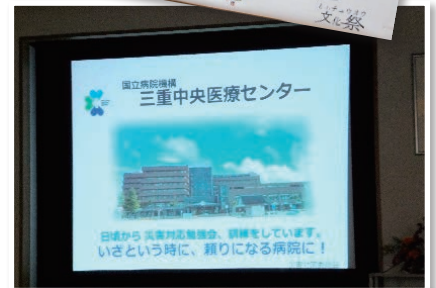
更に、今年は隣接する附属看護学校と同時開催となりました。

学生達の模擬店や元中日ドラゴンズ 井上一樹さんによる「勝利を呼び込む判断力・決断力・チーム力」のご講演をいただきました。

私たちは、患者さんのみならず、そのお子様やお孫さんなど、子供さんも楽しんでいただけるイベントとし、医療に対する関心を持っていただきたいと思っています。

イベントは病院内のボランティアスタッフによって運営されています。組織内の異なる部署同士のスタッフ間でのコミュニケーションを充実させ、ホスピタリティーの向上を目指します。また、スタッフのご家族が気軽に訪れることのできる企画とし、普段見ることのない「職場」を見ていただくことで家族内のコミュニケーションの貢献も期待しています。

三重中央医療センターは地域医療支援病院です。これからも、地域の方々の交流の場になってゆくことを目指してまいります。



輝くメディカルスタッフたち

医師、看護師以外にも、多くの専門性を持ったスタッフが当院院内で活動しています。その人と仕事にスポットを当てて紹介します。

臨床工学技士 **中林 敦**

臨床工学技士がどのような職種か、皆さんご存じですか？恐らくほとんどの方が名前すら聞いたことがないでしょう。一言でいうと臨床工学技士は「医療機器の専門家」です。病院には数多くの医療機器があります。薬液を適切に送り込む輸液ポンプ・シリンジポンプ、人工呼吸器などの生命維持管理装置、心臓外科手術で心臓の代わりに血液を送る機械(人工心肺装置)、まだまだ沢山ありますが紹介しきれません。これらの適切な操作や安全の確保が主な仕事です。人の身体に使用するものですから、機械のことだけでなく医学(臨床)的知識も当然必要になり

ます。そのあたりが臨床工学技士という名前の由来でしょうか。

ただ、医療機器に関する知識・技術が必要なのは医師・看護師も同じなので、勉強会を開くなどしてサポートしています。ときには治療方針への意見を求められ、いくつかの選択肢を医師に提示することもあり責任の重さを感じます。今後も他の医療スタッフと上手く連携し、チーム医療の一端を担えるよう努めていきます。



事前申し込み
不要

出前！市民公開講座のお知らせ

入場無料

平成30年 2月26日(月) 津リージョン 1F中央保健センターホール 15:00~16:00

・テーマ：糖尿病を本当に知ろう ~糖尿病が気になる人のための糖尿病教室~

講演：一般内科 奥田 昌也

「クローバー友の会」 会員募集

「クローバー友の会」は地域の皆様と病院が、様々な病気・医療の学習を通して理解を深め合う会として発足しました。賛同いただける方はぜひ会員登録をお願いいたします。登録は無料です。会員には当院から健康に関する様々な情報をお届けします。受付でお声かけください。登録と同時に会員証をお渡しいたします。

たくさん勉強していただいた方には素敵なプレゼントがあります。

記入いただいた個人情報は本会の業務以外には使用せず、安全かつ適切に管理いたします。

三重中央医療センター 地域医療連携室

独立行政機構
三重中央医療センター
クローバー友の会事務局

〒514-1101 三重県津市久保町 2158-5
TEL 059-259-1211 内
地域医療連携室

独立行政機構
三重中央医療センター クローバー友の会

会員にご登録いただきありがとうございます。
講演会に参加いただくことに1スタンプ押印いたします。
(スタンプ数による特典は別紙公表いたします。特典は変わる場合があります。)

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

■会員氏名
住所
氏名
電話

編集 後記

新年明けましておめでとうございます。
今年平成30年です。個人的には「昭和」の時代より「平成」の時代を長く過ごしているので、来年4月で「平成」が終わってしまうのは少し寂しい気もします。
さて、話しを今年に戻しますと、今年2月に平昌オリンピック、6月はサッカーW杯がロシアで開催され、世界的なスポーツイベントが目白押しです。
どうやら、今年上半期は寝不足との戦いになりそうです・・・。(勝)

●●● 三重中央医療センター連携医療機関紹介 ●●●●●

まつばら整形外科クリニック

ホームページ: <http://www.matsubara-seikei.com/>



当クリニックは、津市城山に平成29年6月に開院した整形外科です。500㎡の院内施設に、最新型オープンMRI、骨密度検査、超音波エコーなどを完備し、100㎡以上のリハビリ室を備えて、理学療法士による運動器リハビリテーションや各種物理療法機器によるリハビリを行っています。変

性疾患、外傷、関節リウマチのほか骨転移・骨軟部腫瘍などの診療、日帰り手術などにも対応し、三重中央医療センターや三重大学病院と連携して手術後のリハビリテーションも可能ですので、かかりつけ医として、当クリニックをご利用下さい。

院長：松原孝夫
 診療科目：整形外科・リハビリテーション科・
 リウマチ科・腫瘍外科
 住所：〒514-0818 津市城山3-4-25
 電話：059-269-5000 FAX：059-269-5001
 休診日：木曜日、日曜日、祝祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:30	○	○	○	△	○	○	△	△
* 15:00～18:30	○	○	○	△	○	△	△	△

△土曜日午後 14:00～17:00
 *リハビリ 14:00～

か つ き 内 科



糖尿病専門医、内科専門医として平成19年9月開院以来、糖尿病患者様を中心に、内科一般診療を行っています。また、近隣の高齢患者様、介護施設へは訪問診療も行っています。

糖尿病診療にあたっては、患者様の意向、希望と当方からの必要な治療を話し合い、できるだけ

薬物療法を行わず、治療方針を決定するよう心がけております。

これまで、三重中央医療センターでは糖尿病内科田中剛史先生、呼吸器内科井端英憲先生をはじめ、循環器内科、神経内科、脳神経外科、産婦人科、泌尿器科の先生の御加療いただいております。今後ともご指導いただければ幸いに存じます。よろしくお願い申し上げます。

院長：勝木 顕
 診療科目：内科
 住所：〒519-0125 亀山市東町1丁目2-19-2
 電話：0595-84-5858 FAX：0595-84-5857
 休診日：木曜午後・日曜日・祝祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30～12:00	○	○	○	○	○	○	△
15:00～18:30	○	○	○	△	○	※	△

※土曜日 14:30～17:00

あめさら耳鼻咽喉科

ホームページ：<http://amesara.net/>



津市観音寺町、TTC医療グループビルの中にあり、わかりやすい説明をこころがけて診療しております。

耳鼻咽喉科一般診療に加え、スギ花粉症に対する舌下免疫療法・アルゴンプラズマ手術、睡眠時

無呼吸症候群、禁煙サポート、などに対応しております。

施設内には共同使用できるCT装置があります。

高度な医療が必要な場合には三重中央医療センターはじめ、三重大学病院、三重病院など近隣の医療機関への紹介体制をとらせていただいております。

院長：雨皿 亮
 診療科目：耳鼻咽喉科、アレルギー科
 住所：〒514-0062 津市観音寺町799-7 TTCビル
 電話：059-213-1200、FAX：059-213-1211
 休診日：木曜午後・土曜午後・日曜日・祝祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	△
15:00～18:30	○	○	○	△	○	△	△

医療法人 佐那具医院



伊賀市の佐那具医院は、昭和45年に現在地で佐那具病院を開設以来、私で三代目になります。その間、胃腸科・外科・内科を中心に診療を行ってきました。地域の皆様に信頼される医院を目指して、患者さんができるだけ長く健康を維持できることをモットーに、外来診療や往診・訪問診療な

どの在宅医療や検診（胃癌・大腸癌検診を中心）・予防接種・外来小手術等に取り組んでいます。今後も地域に根差した「かかりつけ医」を目標に努力していきます。

院長：子日 光雄 副院長：子日 克宣
 診療科目：胃腸科・外科・内科・整形外科・リハビリテーション
 住所：〒518-0001 伊賀市佐那具町420番地
 電話：0595-23-3330 FAX：0595-23-3386
 診療日程：副院長の診察日は水曜日・金曜日
 1・3・5週土曜日
 木曜午後診療は、三重大学肝胆膵外科医師
 休診日：土曜午後・日曜日・祝祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30～12:30	○	○	○	○	○	○	△
15:30～18:30	○	○	○	○	○	△	△



外来診療担当表

平成30年1月1日現在

診療科名等		月	火	水	木	金	
初診内科 (初診・予約外)	1診	井端 英憲【呼】	大本 恭裕【呼】	中久木 哲也【循】	田中 剛史【糖】	川崎 敦【循】	
	2診	竹内 圭介【消】	武内 哲史郎【循】	坂倉 康正【呼】	田中 淳子【循】	後藤 浩之【糖】	
	3診	新谷 卓也【循】	倉田 一成【消】	田口 由紀子【消】	渡邊 典子【消】	北出 卓【消】	
	4診	小野 隆裕【消】	奥田 昌也【糖】	渡邊 麻衣子【糖】	西村 正【呼】	内藤 雅大【呼】	
	(整形3診)				吉川 恭子【消】		
再診内科 (再診予約のみ)	呼吸器内科	5診			井端 英憲(午後再診)		
	循環器内科	5診	田中 淳子	川崎 敦	中久木 哲也(午前再診)	武内 哲史郎	
	(整形3診)					北村 政美	
	呼吸器内科	6診		井端 英憲	井端 英憲	大本 恭裕	
	(整形1診)			藤本 源		大本 恭裕	
	消化器内科	7診	子曰 克宣	北出 卓	渡邊 典子	倉田 一成	竹内 圭介
	内科	5診			井田 紗矢香		
		8診	中久木 哲也【循】	新谷 卓也【循】	後藤 浩之【糖】	田口 由紀子【消】	新谷 卓也【循】
		9診	後藤 浩之【糖】	田中 剛史【糖】	田中 剛史【糖】	田中 崇【糖】	田中 剛史【糖】
		10診		子曰 克宣【消】	内藤 雅大【呼】	奥田 昌也【糖】	岡野 智仁【呼】
(整形2診)					渡邊麻衣子【糖】		
腎臓内科(外科2診)				村田 智博			
神経内科	1診	北川 長生	北川 長生	北川 長生	掃部 俊貴	北川 長生	
	2診	掃部 俊貴	賀川 賢	賀川 賢	賀川 賢	吉丸 公子	
	3診				村賀 香名子		
小児科・新生児科 (初診・再来初診は紹介のみ) (NICUフォロー発達外来は予約のみ)	午前	1診	井戸 正流	小川 昌宏	井戸 正流(初診)	田中 滋己	田中 滋己(初診)
		2診	盆野 元紀	盆野 元紀	交代制	盆野 元紀	NICU連携外来
		3診	田中 滋己	田中 滋己(初診)		井戸 正流(初診)	小川 昌宏
		4診(発達外来)	杉野 典子	交代制	杉野 典子	杉野 典子	発達支援
	午後	1診	NICUフォロー	NICU乳児健診(交代制)	内菌 広匡	田中 滋己(奇数週)	佐々木 直哉(偶数週)
		2診	盆野 元紀	杉野 典子(2週間・1ヶ月健診)	杉野 典子	盆野 元紀 伊藤 雄彦(2,4,5週)	盆野 元紀 (内分泌・成長外来)
		3診	小川 昌宏	山下 敦士(心エコー外来)		小川 昌宏	シナジス外来(交代制)
		4診(発達外来)	杉野 典子(奇数週)	発達支援	発達支援	発達支援	発達支援
総合診療科					近藤 諭		
外科	1診	湯浅 浩行	谷川 寛自	横井 一	信岡 祐	谷川 寛自	
	2診	横井 一		松田 明敏			
	(泌尿器1診)	信岡 祐(午前)					
緩和ケア外来(予約・紹介のみ)						谷川 寛自	
乳腺外科(予約のみ)						野呂 綾	
整形外科 (予約・紹介のみ)	1診	田中 雅		高北 久嗣		田中 雅	
	2診	高北 久嗣		山口 敏郎		山口 敏郎	
	3診	上田 幸広		上田 幸広			
形成外科				石浦 良平			
脳神経外科	1診(初診)	石田 藤麿	岸本 智之	谷岡 悟	田中 克浩	石田 藤麿	
	2診(再診)	霜坂 辰一	石田 藤麿	霜坂 辰一	谷岡 悟	田中 克浩	
脊椎・脊髄外科(予約・紹介のみ)						倉石 慶太	
呼吸器外科			安達 勝利		樽川 智人	安達 勝利	
心臓血管外科		浦田 康久		佐藤 友昭		日置 巖雄	
皮膚科*(予約・紹介のみ)		中西 朝子	三重大学医師(再診)	中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子	
泌尿器科	1診		加藤 雅史	加藤 雅史(初診)	加藤 雅史	加藤 雅史(初診)	
	2診		西井 正彦(初診)	西井 正彦	西井 正彦(初診)	西井 正彦	
産科・婦人科	午前	1診(初診)	前川 有香	日下 秀人	前田 眞	吉村 公一	前田 眞
		2診(婦人科再診)	前田 眞	手石方 康宏	吉村 公一	森下みどり	日下 秀人
		3診(産科再診)	森下みどり		前川 有香		手石方 康宏
		4診(助産師外来)	毎日、完全予約制(担当は交代制)				
	午後	1診(産科再診)	前川 有香	日下 秀人	前川 有香	吉村 公一	日下 秀人
2診(婦人科再診)				吉村 公一			
	3診	助産師外来	産後一ヶ月健診	助産師外来	助産師外来	助産師外来	
眼科(予約のみ)		三重大学医師		三重大学医師			
耳鼻咽喉科	午前		伊藤 由紀子(再診予約のみ)	伊藤 由紀子(初診)	伊藤 由紀子(初診)	伊藤 由紀子(再診予約のみ)	
	午後(再診予約のみ)	伊藤 由紀子	中耳外来		中耳外来		
放射線科(7ブロック)		奥田 康之	奥田 康之	奥田 康之	奥田 康之	奥田 康之	
リハビリテーション科		山口 敏郎	田中 雅	田中 雅	田中 雅	上田 幸広	
歯科・歯科口腔外科		柳瀬/加藤	柳瀬/加藤	柳瀬 成章	柳瀬/加藤	柳瀬/加藤	
看護外来(予約のみ)		第1月曜日 透析予防外来 がん看護相談外来	第3火曜日 透析予防外来 がん看護相談外来	糖尿病外来 がん看護相談外来	ストーマ外来 がん看護相談外来	フットケア外来 がん看護相談外来	

* 初診及び予約のない再診の方の受付時間は8:30 ~ 11:00までです。 * 医師の人事異動・出張等により臨時に代診(休診)となる場合があります。
* 当院のような急性期病院は、病棟入院患者様の処置、手術、検査、回診等があり、外来診療に制限を設けなければならない診療科もあることを御理解ください。

不整脈専門外来	肝炎外来	いびき・無呼吸検査	タバコ障害・COPD精査	ものわずれ外来	未破裂脳動脈瘤の相談 要予約(自費)
月・火曜日 午前診療	月曜日 午前診療	月・火曜日 午前診療	月～金 午前診療	木・金曜日	金曜日 午前診療
循環器内科(新谷)	消化器内科(竹内)	呼吸器内科	呼吸器内科	神経内科(木・村賀、金・吉丸)	脳神経外科(石田)
脊椎・脊髄外科専門 (要予約・紹介)	肺癌・良性肺腫瘍・ 気胸・縦隔腫瘍・膿胸	中耳外来 (予約)	フレママ外来	おっぱい外来 (予約)	乳腺外科 (予約)
金曜日 (10時～12時30分)	火・木・金 午前診療	火・木曜日 午後診療	月・木曜日午後 火曜日午前診療	月・木曜日 午前診療	金曜日 午後診療
脊椎・脊髄外科(倉石)	呼吸器外科	耳鼻咽喉科(伊藤)	産科・婦人科		乳腺外科(野呂)